

研修名 保育実践 自然と保育研究研修

平成29年11月1日(水) 10:00~15:30

テーマ 「自然観察と遊び」

講師 環境レイカーズ 島川 武治 氏

1 講演要旨

1) 体験学習概論

○感じるとは…五感をしっかりと使って自然を感じる事が大切。

- ①聞く：鳥の声・葉っぱや風の音・周りにいる人の声
- ②見る：葉っぱの色の違い・
- ③かぐ：葉や実や花の匂い・自然の木の匂い
- ④味わう：食べられるという知識があると分かる
- ⑤触れる：葉っぱの肌触りの違いや木の皮、虫等

○保育現場での活用

- ①聞く…牛乳パックを使った音当てゲーム
- ②見る…ルーペを使って色々な自然物の観察（ない場合は虫眼鏡）
- ③触れる…袋の中に手を入れ、触った物を探す
好きな葉っぱを探す

○体験学習法

友達の好きな葉っぱをあてる・葉っぱをお金に見立てて遊び、じゃんけんで葉っぱを交換。最後は一番多い人の勝ち！

色々な色の葉っぱを使って葉っぱアート・色ごとに葉っぱを並べて遊ぶ

☆使った後は、自然に返せるというのが良いところ

2) 講義

○経験から学ぶ事が大切

DO (体験) → LOOK (指摘) → THINK (分析) → GROW (仮説化)

を何度も繰り返し、子ども達に考え、気付かせていくことが大切。

○安全と危険について

危険な植物：ウルシ、キノコ（食べるのは毒だが、触るのは大丈夫という物が多い）

危険な動物：スズメバチ、マムシ、クマ

☆危険な動植物を知ること、応急処置の仕方を知っておくことで、自然環境で子ども達を遊ばせることができるようになる。

2 感想

身近な自然が子ども達にとって、色々な遊びになるということを改めて感じた時間になりました。植物園での遊びを実際に園でやってみると、予想通りの行動に出る子、そうでない活動に出る子がいて、とても楽しい毎日になりました。秋だけでなく、冬や春などの身近な自然の遊び方について質問するべきだったと後悔が残りました。

グループワークでは、各園の自然物を使った遊びを話し合いましたが、どの園もあまり身近な自然を活用しているという話は出ませんでした。しまっち先生の言う様に、自然を使ったり、自然の中で遊ぶ経験をする機会を保育の中で取り入れられていない事がよく分かり、自園での課題になりました。（記録 木津川市立相楽保育園 飯塚 彩恵子）